

令和5年第4回定例会一般質問通告事項

9 月 6 日	岡田広美議員（市民連合）	質問方式：一括質問方式
	<p>1 尾道で出産難民が出来る</p> <p>(1) 尾道で、分娩ができる環境整備のために、何かお考えでしょうか。例えば、市民病院にも産科医を入れて、産科を復活させて、尾道の人安全に安心して分娩できるよう、考えませんか</p> <p>(2) 少子化が進行しているとはいえ、年間600人以上の赤ちゃんが生まれています。産科が、少なくなると、集中してしまうと、産前産後のケアが、行き届かないのではありませんか。この10年間で、産後うつのために、全国で630人の自殺者が出たと聞いています。そこは、どのような取り組みをお考えでしょうか。産前産後のケアについて、尾道での取り組みを具体的にお示してください</p> <p>(3) これからの尾道市を考える中で、安心して子どもを産み育てる環境づくりは、自治体の急務だと思います。沖縄市で、若年妊産婦の居場所を5年前から開設しています。車を持っていない利用者のためにスタッフが、送迎したり、24時間、助産師が、LINEを使って相談に乗っています。18歳以下の妊産婦で、子どもが3歳まで利用でき、自分に合った仕事を見つけることなど就職活動を支援したりもしています。尾道でも、このような取組をお考えいただけますか</p> <p>2 HPVワクチンの男性への接種について</p> <p>(1) 尾道では、HPVワクチン接種の男性への推奨をどのようにしていますか</p> <p>(2) 4月から9価ワクチンも接種できるようになりましたが、反応は、いかがですか</p> <p>(3) HPVワクチン接種が、どのくらい増えましたか。また、男性の接種が尾道でもありましたか</p> <p>(4) 子宮頸がん患者が、減ったかどうか、わかれば、お示してください</p> <p>(5) 国の動向も併せて、お示してください</p>	